

国家試験「知的財産管理技能検定」

<今後の実施予定>

試験日	第41回 2022年3月13日（日）
実施試験種	1級（ブランド専門業務）学科試験 1級（特許専門業務）実技試験 2級（管理業務）学科試験・実技試験 3級（管理業務）学科試験・実技試験
実施地区	北海道、宮城、茨城、千葉、東京、神奈川、石川、長野、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、徳島、愛媛、福岡
申請受付期間	個人Web申込（郵送申込、団体申込方法はWebをご確認ください） 2021年10月13日～2022年2月1日
試験結果通知	2022年4月26日予定

※1級実技試験は東京地区のみでの実施となります

※実施地区、申請受付期間、試験結果通知日等は変更になることがあります。最新の情報は都度検定Webをご確認ください

【知的財産管理技能検定 年間実施予定】<http://www.kentei-info-ip-edu.org/schedule.html>

<知的財産管理技能士数> * 2021年8月現在

(人)

1級 (特許専門業務)	1級 (コンテンツ専門業務)	1級 (ブランド専門業務)	2級 (管理業務)	3級 (管理業務)	合計
1,868	380	258	38,250	72,913	113,669

【知的財産管理技能検定 実施データ】http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam_kekka.html

～『IPジャーナル』投稿論文募集～

本誌では、投稿論文を募集しています。投稿できる原稿は、国内外の知的財産又はそれと密接に関連する法律（条約を含む）・判例上の問題および国内外の知的財産に関する実務上の問題（特に企業・団体等における知的財産マネジメントに関連するものが望ましい）に関する未発表の論文、判例批評、調査報告、翻訳であり、投稿資格としては、知的財産又はそれと密接に関連する領域の研究又は実務に従事している方ならどなたでも投稿できます（査読あり）。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

『IPジャーナル』ウェブサイト：<http://fdn-ip.or.jp/ipjournal/>

知的財産アナリスト認定講座

「知的財産アナリスト」は、企業経営・ファイナンス・知的財産の専門知識を基に各種情報の収集・分析・評価等を行い、企業の戦略的経営に資する情報を提供することにより、経営と知的財産を架橋できる専門人材です。知的財産教育協会では、「特許」と「コンテンツビジネス」の2つの領域に特化した講座および認定試験（学科試験・実技試験）を実施し、資格認定を行っています。

資格認定後の知的財産アナリストの多くは、知的財産アナリストの知識・スキルを活用し、さまざまな教育機関・メディアにおいて講師活動や執筆活動をするなど活躍しています。また、企業や特許事務所から知的財産アナリストを対象とした求人が寄せられ、随時募集も受け付けています。採用された知的財産アナリストは採用企業・事務所から高い評価を受けています。

※2021年12月現在の認定者数は、合計1,316名です（特許領域1,092名／コンテンツ領域224名）。

年間実施予定や実施形態は予告なく変更する場合があります。詳細および最新情報は、必ずWebサイトにてご確認ください。

・知的財産アナリスト認定講座（特許） http://ip-edu.org/ipa_nintei

モノづくり領域を題材に、知財情報とマーケティング情報等を解析して過去分析のみならず将来予測まで行うユニークな手法を学び、経営企画、研究開発、知的財産等の関連部門と連携しながら、M & Aに代表される知財デューデリジェンスの実施や知的財産報告書の作成、経営層への経営戦略・知的財産戦略の策定・提案等の「IPランドスケープ（*）」業務に貢献できる専門人材「知的財産アナリスト（特許）」を養成しています。また、講座では、「IPランドスケープ」の意義や、知財経営に貢献するためにどのようなスキルをどのように身に付けるかを概観する科目を新設する等、さらなる内容の充実を図っています。知財経営を推進する企業では、社員への取得推奨資格として、あるいは、求人の推奨要件として取り上げられており、事業に貢献できる実践的な専門人材として高い評価を受けています。

*「IPランドスケープ」業務は、2017年4月に特許庁より発表された「知財人材スキル標準」（version2.0）のスキル評価指標に追加されています。

・知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル） http://ip-edu.org/ipa_con

コンテンツ産業やその隣接産業で活躍されている方をはじめ、製造業・サービス産業等においても、コンテンツを利用して事業や企業に新たな価値を創造し経営に貢献することを目指す方を対象に、コンテンツやその事業を「ビジネス」の観点から評価・分析し、事業開発や事業発展に貢献できるプロフェッショナルを養成する講座です。本講座では、広範囲なビジネス活動である「マーケティング」に重点を置き、「新時代の市場環境に適応するために、顧客主義に則った広義のマーケティングを基礎として、コンテンツを活用した事業を構想し、企業等の組織体の骨格と言える会計、法務、知財の役割を戦略そのものと位置付ける取組みを通して、知的財産アナリストとしての「評価軸」を持ち、既存事業や企画案の事業性や、提携先の選択等の判断において、経営者が必要とする提案、評価等の情報（インテリジェンス）を提供できる人材の育成」をコンセプトに設計・実施しています。

■年間実施予定 http://ip-edu.org/ipa_info#7

知的財産アナリスト認定講座（特許）	知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル）
※年3回を予定 第31期講座：2022年2～3月頃 [オンライン] 第32期講座：2022年初夏頃 第33期講座：2022年秋頃	※年2回を予定 第19期講座：2022年春頃 第20期講座：2022年初秋頃

各領域の認定講座や関連イベントの開催情報、講座修了者の活動・成果、知的財産アナリストを対象とした求人等の情報をメールマガジンで発信しています。本資格の取得や活用をお考えの方は、お気軽にご登録ください。

【知的財産アナリスト無料メールマガジン「IPA 通信」】 http://ip-edu.org/ipa_ml

知的財産保護包括協力推進事業

知的財産研究所では特許庁による委託を受けて「令和3年度知的財産保護包括協力推進事業」を実施しています。2021年10月29日、30日の2日間、日中両国を結ぶテレビ会議で実務家をお招きし、研究テーマである「国際的な意匠保護の在り方に関する研究」、「ソフトウェア関連技術の特許保護に関する比較研究」に則して、実務的な観点からご講演いただきました。

また、企業における知財実務についての理解を深めるためにキヤノン株式会社の知財担当者を会議へお招きし、企業紹介や知財実務に関する取り組みについてご紹介いただき、意見交換を行いました。さらに、産業界や制度ユーザとの知財法制に関する意見交換を行い、日中の知的財産権制度の実情についての情報を交換し相互理解を深めました。

次回は2022年の1月に、中国の政府関係者を対象として日中共同研究の成果発表会を開催する予定となっています。

知財研セミナー「IP ランドスケープ推進協議会の活動と会員企業における取組」の動画の提供について

知的財産研究所では、IP ランドスケープ推進協議会から5名の講師をお招きし、2021年10月20日（水）に知財研セミナーを開催しました。賛助会員の皆様は知的財産研究所WEBサイトの「賛助会員サイト」から、知的財産管理技能士会の皆様は知的財産教育協会WEBサイトの「マイページ」からセミナー動画をご覧いただけます（掲載期間2022年4月末まで）。今後も知財研セミナーの動画を提供して参りますので、ご活用いただければ幸いです。

【IP ランドスケープ推進協議会の活動と会員企業における取組】

- ・「IPL 推進協議会について」（中村 栄氏 旭化成株式会社 研究・開発本部 理事 知的財産部長 シニアフェロー）
- ・「会員企業の取組状況と課題」（川名 弘志氏 KDDI株式会社 知的財産室長 弁理士）
- ・「まわすチカラとIPL ～知財を事業価値に転換する取組み～」（荒木 充氏 株式会社ブリヂストン 知的財産部門 部門長）
- ・「事業及びR & Dに資するIPL」（坂元 徹氏 住友化学株式会社 知的財産部 グループリーダー）
- ・「知財戦略と情報開示 ～機関投資家との会話?～」(比嘉 正人氏 株式会社日立製作所 知的財産本部 知財戦略部長)

一般財団法人知的財産研究教育財団

知的財産研究所のご案内

知的財産研究所は、一般財団法人知的財産研究教育財団の研究部門として、知的財産に関する調査研究、情報提供、国際交流などの事業を実施し、知的財産制度の発展に寄与します。

知的財産研究所 URL

<https://www.iip.or.jp/>

セミナー 報告会

- 当研究所では、知的財産に係る制度運用や注目判決、外国の知的財産に関する動向などの、セミナーや報告会を開催しています。
- セミナー情報は、<https://www.iip.or.jp/seminar/index.html> でご覧になれます。
- セミナー情報が必要な方は、「IIP メール配信サービス」をご利用ください。
(<https://www.iip.or.jp/mailservice/index.html>)

※当研究所のセミナーの多くは、日本弁理士会の継続研修として認定を受けています。詳しくは各セミナー情報を確認してください。

賛助会員 制度

- 当研究所では、賛助会員制度を設けています。

主な会員特典	年会費	
季刊誌「IPジャーナル」を年4回進呈	法人会員	30万円（1口）
セミナー料金の割引	準法人会員	8万円（1口）
管理技能検定テキストの割引 ほか	学校会員	5万円（1口）
	個人会員	1万円（1口）

- 入会申込書は、<https://www.iip.or.jp/sanjyo/become-member.html> で入手できます。

知財図書館

- 当研究所では公益目的事業として、知財図書館を運営しています。
- 知財図書館では、知的財産分野に関する国内外の図書、雑誌を所蔵し、広く一般の方に公開しています。

